



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 短編映画「福島桜紀行」上映に寄せて
プロ野球「巨人対横浜DeNA」に100名様ご招待
- ・[特集] 5年目を迎えて これまでの感謝・これからの願い
- ・みんなの声 ・しあわせココロのつくりかた(44)
- ・[Special Interview] 寒河江市 moufle 会 石川由香さん
- ・おすすめ情報 ・レシピ ・団体紹介 ・編集部より

第72号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 3,000部

桜を通して映し出す福島の姿

短編映画「福島桜紀行」上映に寄せて

「三春滝桜」「富岡町の桜並木」、撮影道中に出会った「ご当地の桜の名所」などの風景とそれに関わる人物の言葉が約30分に収められています。

これまで自主上映会は全国で10回以上を数え、浪江や二本松など福島県内でも行いました。4月には東京でインターネットを通じて観覧者を募り、東京タワーを見上げ



今年は例年よりも桜だよりが駆け足でやってきました。福島県の桜は浜通りから咲き始め、中通り、そして会津の裏磐梯へと桜前線は1カ月ほどかけて横断します。

元NHKカメラマンで映像作家の鉾井喬(ほこいたかし)さんは、1年前に福島の満開の桜を追いかけながら、短編映画「福島桜紀行」を制作しました。フィルムには

ながら「お花見上映会」を開催。都会でもたくさんの福島ファンが駆けつけてくれました。

鉾井さんはNHK在職中に、カメラを通して震災の現実を見つめてきました。しかし震災も風化し、人々の心から消えていく悔しさも感じていました。そのようなか、浪江町で時計店を営みながら、ふるさとの復興に懸命にひた走る原田さんに出会い、自分も映像を通して「今の福島の多様な状況を多くの人に知ってもらいたい。」と思い、神奈川県出身ながら福島市に住み、フリーとなって映画を制作したそうです。

鉾井さんは「桜は日本人にとって入学式など思い出も多い花です。誰にとっても身近で、何があっても変わらず、毎年美しい花を咲かせ、人々に感動を与えてくれる桜の映像を紹介することで、『福島の今』を見てもらうきっかけになればうれしいです。」とコメントしてくれました。(結城)



■DVD・ブルーレイの貸出(有料)のお問合せは復興ボランティア支援センターやまがたまで
料金 一人300円程度～
TEL: 023-674-7311

Present プロ野球「巨人対横浜DeNA」に100名様ご招待

読売巨人軍は、社会貢献活動「Ghands」プロジェクトの一環として、山形県で開催されるプロ野球公式戦「巨人対横浜DeNA」に山形県にお住まいの避難者100名様をご招待します。ご応募をお待ちしています。

日時: 5月17日(火) 18:00 試合開始

会場: 荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた

(山形県野球場) 山形県東村山郡中山町長崎 5081 番地

■応募締切 5月2日(月) 必着

※抽選結果は応募締切日の翌日に、当選者のみメールでご連絡させていただきます。はがきでお申込みいただいた方は、当選通知の発送をもってさせていただきます。

■申込方法: 申込者、現住所、電話番号、メールアドレス、避難前住所、同伴者がいる場合は同伴者の氏名及び申込者との関係(続柄)、駐車場の必要有無を明記。

はがきまたはメールにて。

メールの方は、件名に「山形県観戦招待」と明記。

【申込先】

〒100-8151 東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル 26F
株式会社読売巨人軍 ファン事業部 「山形県観戦招待」係
E-mail: fs.event@giants.co.jp

【問い合わせ先】読売巨人軍ファン事業部 03-3246-7733 (平日 9:30 ~ 17:30) ※お申込み多数の場合、抽選の上、ご招待者のみご連絡いたします。

「つながろう! ささえあおう! 復興支援プロジェクトやまがた」事業は、厚生労働省の「地域コミュニティ活動を活用した被災者生活支援事業」の助成を受けて活動しています

5年目を迎えて これまでの

感謝・これからの願い



*山形へ

3. 11より早5年になろうとしています。山形に来て右も左も分からない時に色々な方々が手を差し伸べて下さって、あの時の思いは一生忘れられません。

山形に来なければ出会わなかった色々な方々、この先一生山形に根を下ろす事に決めたので、この出会いを大事にして行きたいです。

これからは、山形に恩を返す心つもりでいます。

(南相馬市↓天童市・女性)

*みなさんへ

私達にとって山形は第2のふるさとです。たくさん思い出をありがとうございます。

(伊達市↓山形市・30代・女性)

*子どもたちへ

目に見えない放射能の影響を恐れ、避難してきたあの日から…右も左も分からない土地での生活は、子どもたちの成長だけが心の支えでした。

2歳と4歳だったあなたたちも、すっかり置賜弁を話すお姉ちゃんお兄ちゃんになり、勉強に剣道に頑張る姿は、お母さんの誇りです。

お友達もできて、ずっと高島にいたいと言われても、「ずっと居られるよ」と約束できなくてごめんね。

雪国での生活のおかげで福島に居た頃

よりも丈夫になったあなたたちが、これからもずっと健康で居てくれる事がお母さんの願いです。(福島市↓高島町・30代・女性)

*友人へ

4月には福島へ戻ります。避難という経験を通して山形で出会った人たちに本当に感謝したいです。

出会いは私の宝物になりました。ありがとうございました。

(伊達市↓南陽市・30代・女性)

*山形へ

この地に避難して5年、子供の高校進学と共に自宅にはありませんが近くに帰ります。

子供の友達が増えると共に親にも友達ができ、帰るのがさびしいです。絶対また遊びに来ようと思っています。

(南相馬市↓南陽市・50代・女性)

*生活支援相談員さんへ

生活支援相談員さんが定期訪問して下さいるので心強いです。様々な相談や雑談を聞いてもらえてありがたく存じます。私たち避難者にとって重要な存在ですので、長期継続を望んでいます。いつもありがとうございます。

(福島市↓米沢市・50代女性)



*家族・友人・山形県の方へ

たくさんのおみな様にしんせつにしてもらって心を元気にしてもらいました。どうもありがとうございました。

私の話を聞いてくれた方にサンキユウです♥

(南相馬市↓長井市・60代・女性)

*山形県へ

4月から福島での生活に戻ります。

山形での本当に様々な支援に感謝しています。

ありがとうございました!

(福島市↓川西町・40代女性)

*支援してくれた人々へ

今でも当時の現実とは思えないような光景が思い出され、特に今頃の時期になるとひどく胸騒ぎがします。

これからも、その思いは消える事は無いと感じていますが、強く生きていければ…と思っています。

(石巻市↓鶴岡市・40代女性)



今。笑顔でいられる幸せ♥
 大震災の後の原発事故
 友達が1歳の子供と関東へ避難。
 買い物をする為に駐車していたら、『福島へ帰れ!』と車に書いた紙がはってあったと、泣きじゃくりながら、電話してきた。
 私達、何も悪い事していないのに福島だから、バイ菌のような扱いをされて!
 その他にもテレビや新聞でも、福島県民であるが為の嫌がらせを知り、辛かった!! 私達の方が、被害者なのに。
 それから、山形県南陽市に避難する事になり、駐車場に福島ナンバーの車を置くのが怖く、なるべく端の目立たない所においた。
 帰って何かされていないかと車を丁寧に見ては、安堵した。
 そんなびくびくした怯えた気持ちで、暮らしていた。
 そんな時、市役所から配布された「うるかむ」を読んだ。
 避難者向けの冊子。避難者の集いや地域の情報。
 自分だけじゃないんだ。と心強く思えた。
 その中で志村友理さんのコラム。
 いつも、自分の心を見透かされているような一番大切な言葉を頂いて。
 包みこむような言葉の温かさ、やっと号泣する事が出来た。
 ずっと私、泣きたかったんだ。
 泣きたくても、もっと辛い思いをしている人がいる。ガマンしなくちゃ。
 生活するのに大変な人達がいるから、笑っちゃいけない。
 心に幾重の扉をつくり、毎日、グレーな世界にいた。
 友達に「笑わなくなったね。」と言われ、その事に気づいた。
 あんなに笑い上戸の私が、笑ってなかった。
 一時間程、嗚咽していたらお腹がすき、みかんを食べたら、身体中に吸収されていくように美味しさが染み渡っていった。
 生きている!私、生きている!
 これからの人生、楽しんでいく!
 そう思えた瞬間。
 「うるかむ」の編集者の方々、友理さん。
 ありがとうございます♥
 (福島市→南陽市→小国町 40代女性)



先日、知り合いに会って「いつも元気だね」と声をかけると「カラ元気」だと言う。
 眠れないので精神安定剤を服用しているのだと。わかるよ、わたしもそうだから。
 彼女もわたしも、テレビで震災関連のことを放映しているとチャンネルを変えてしまう。
 映像から目を背けたい、5年経っても見たくない。心と体が連動して息苦しくなる。
 わたしの周りの津波の被災者は、そんな人が多い。

「みんなの声」につぶやきを送ろう

<http://kizuna.yamagata1.jp/modules/ccenter/?form=2>

QRコードを読み取ってね



シアワセコラム しあわせココロのつくりかた (44)

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

一日24時間、時を刻み続けるその中で、どれほどの思いを、人は積み上げていくのだろう。
 今日一日の中で、わたしが感動した瞬間は、どれくらいあったらう。
 まだ見ぬ明日を思い煩い、今を取りこぼしていないだろうか。
 通り過ぎた過去にとらわれて、今を取り逃がしていなかったらうか。
 今日、織り上げる思い出が、明日輝くものになっていれればいい。
 誰かに求めても、誰かを変えようとしても変わらないことくらい、もうわかっているはずだね。
 過去も未来もすべてすべて、しあわせな笑顔が溢れるように、今、この世を彩る一つ一つの思い出を優しく刻んでいこう。
 わたしが変われば、世界が変わる。
 愛することも、夢見ることも、信じることも
 すべて、わたしからはじめること。

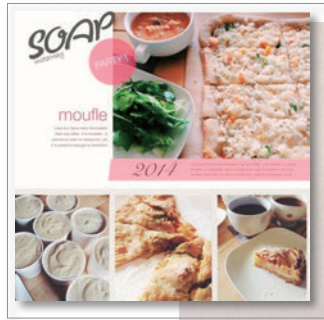


Special Interview

寒河江市

moufle (モウフル) 会

いしかわ ゆ か
石川 由 香 さん



Q 震災前・震災時はどこで過ごしていましたか？

郡山市出身です。当時、子どもは1歳と小学校1年生でした。15日頃テレビで原発事故を知って、友人からも「避難したほうがいいよ」と言われ、家族で大阪に一時避難しました。

自主避難を考えて最初は新潟県に避難先の下見に行きましたが、その後、寒河江市に見え。子育てするにはちょうどいい環境だったのがとても気に入りました。夫も寒河江市への避難に賛成してくれて、2011年8月に寒河江市に自主避難する事になりました。夫は福島に残っていますが、毎週のように子どもに会いに来てくれます。

Q 会をはじめたきっかけは？

寒河江市に来たばかりの頃は、永住するつもりは無く、周りの人どこまで仲良くなったら良いのか分からなくてなかなか友人ができませんでした。寒河江市が開いてくれた避難者のイベントに参加した時、初めて同じ境遇の人と会って、横の繋がりができたのがすごく嬉しかったです。

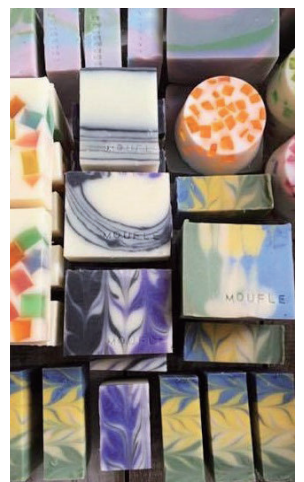
元々、郡山にいた時から洋服や食べ物を手作りするのが好きで、お店に卸して販売したりした事があり、それを生かして同じ避難者同士集まれる会が出来たらいいな、

と思うようになり、moufle会(モウフルフランス語で「ミトン」の意味)を始めてみる事にしました。moufle会には同じ世代の子どもを持つ親が集まるようになりました。人が集まって手作りしたらおしゃべりも弾み、行く所が限られる乳幼児を連れお母さん達にとつては、ささいな話をするだけでもすごく癒されました。これまでランチ会や餃子パーティ、編み物会や石鹸づくりなどをしてきました。作ったものを使うのも、とても楽しいです。

最近では避難元に帰る人も増えて来て、参加する人も減ってきたので定期開催はお休みしていますが、「やってほしい」と声をかけられたら開催するようにしていきます。

Q 会をやってみてどうでしたか？

moufle会をやってみて、同じメンバーが集まっていると共感しあえる友人がたくさんできました。ここでできた友人は特別。嫌なことがあったり、この先が不安で落ち込むこともあるけれど、



気の許せる仲間や友人ができて気が楽になり、ちゃんと立っていられる自分になりました。避難して嫌な事だけじゃないし、子育てで自分が成長できた部分もあると思います。悩まされるのも人、助けられるのも人。出会う人を大切にしていきたいと思えます。

Q これからの予定は？

借上げ住宅の支援が終了する時に、子どもは小学6年生と年長になります。その時に帰ろうかと私は思っていますが、子どもは寒河江市に残りたいと言っています。寒河江市では知らない人が優しくしてくれたり、スポーツで知り合った人たちも優しく、人が温かい。もうここに住んでも良いかと迷いますが、時間をかけて考えていきたいと思っています。

moufle (モウフル) 会

手芸会、石鹸づくり、お料理会のご希望の方は、下記お問合せ先までご連絡ください。
[お問合せ先] 復興ボランティア支援センター
やまがた(月-金 9:00~17:00)
TEL: 023-674-7311
メール: kizuna@yamagata1.jp

おすすめ情報

東邦銀行 米沢支店 4月27日オープン

[東邦銀行ATMサービスのご案内]

- ・ATMの利用手数料が無料です。(いつでも・誰でも・何回でも)
※当行のキャッシュカードをご利用の場合
- ・米沢支店ATMコーナー営業時間
7:00～22:00(365日いつでも)
- ・ヨークベニマル成島店ATMコーナー営業時間
9:30～22:00

【お問合せ先】株式会社 東邦銀行 米沢支店

住所：米沢市徳町 8-3

TEL：0238-40-8816 (受付時間：平日 9:00～17:00)



米沢支店
近隣地図

KMA スーパーコンサート2016

加藤マチャアキデビュー 10周年記念
Silky rainbow シルキーでレインボーな奇跡の歌声と
ダンサブルなスーパーエンターテイメントショー

山形会場 日時：2016年6月12日(日) 開場 13:00 開演 14:00

会場：山形テルサ アプローチ

高島会場 日時：2016年7月2日(土) 開場 13:00 開演 14:00

会場：高島町文化ホール まほら

ゲスト：絢音 ayane 出演：高橋ひろみ、メロメ、KMA 他

<避難者招待券 お申込み方法>

抽選次第、発送をもってお知らせいたします。

申込み締切り：2016年5月20日(金)

1) ハガキでの応募

添付の“みんなの声大募集!”のはがきに①氏名 ②住所 ③連絡先 ④避難元市町村 ⑤チケット枚数 を書いてお送りください。

2) メールでの応募

下記メールアドレスに①～⑤の内容をお送りください。

①お名前 ②住所 ③電話番号 ④避難元市町村 ⑤チケット枚数

申し込み先：メール kizuna@yamagata1.jp

【お問合せ】復興ボランティア支援センターやまがた

TEL：023-674-7311 (月～金 9:00～17:00)



大谷哲範 Live & Talk ~ SoloPiano & Story ~ Vol.2

うるかむの「シアワセコラム」でお馴染みの志村友理さんとのトークセッション、大谷哲範さんのピアノソロなど盛りだくさんの内容です。

日時：5月28日(土) 開場 17:30

開演 18:00 (終演 20:00 予定)

会場：山形市 蔵オビハチ (山形市十日町 3-1-43)

チケット 前売り 3,000円 (1ドリンク代 500円別)

当日 3,500円 (1ドリンク代 500円別)

出演：大谷哲範 志村友理

【お問合せ】TEL：090-9014-1889 (事務局 / 担当：鈴木)

メール：tetsnory.otani@gmail.com

<大谷哲範プロフィール>

ミュージシャン・音楽プロデューサー・
心理カウンセラー

キーボードプレイヤーとして、尾崎豊、
TUBE、松本孝弘 (Bz)、織田哲郎など
他多数のミュージシャンとステージ、レ
コーディングをともに行ってきた。

カウンセラーとしては「東日本大震災に
於ける功労者賞」山形県知事より「山
形公益大賞」を受賞した。



借金に関する 巡回無料・法律相談会【相談無料 秘密厳守】 ～返しきれない「借金」のこと、専門家に相談しませんか～

医療費、介護費、失業、転職、住宅ローン、生活費、教育費、カードローン…返しきれない借金、生活資金不足、震災により避難されている方、お気軽にご相談下さい。

専門相談員が借金の状況をお伺いし、必要に応じて弁護士などの専門家に引き継ぎます。

<弁護士による無料法律相談会>

日時：平成28年5月30日(月) 11:00～15:00

会場：無料法律相談(30分)は、山形県弁護士会のご協力により鶴岡市・酒田市の弁護士事務所にて実施します。

※完全予約・事前相談制

法律相談は、当所専門相談員による事前電話相談が必要です。

当日不都合の方も日程を調整し、山形県弁護士会におつなぎします。

まずは、下記【相談専用】電話までお気軽にお電話下さい。

<相談員による巡回無料相談会>

日時：平成28年5月30日(月) 13:00～16:00

会場：山形県庄内総合支庁 会議室

(東田川郡三川町大字横山字袖東 19-1)

※完全予約制

当所専門相談員が借金の状況をお伺いします。

会議室番号はお申込時にご案内します。

【ご予約・お問合せは】

東北財務局山形財務事務所 理財課

TEL：023-641-5201【相談専用】

受付時間：月～金(祝日除く)

8:30～12:00 13:00～16:30(原則として)

電話が繋がりにくい場合は023-641-5178(理財課)へ

◆予約締切 5月26日(木)

※東北財務局山形財務事務所(山形市緑町 2-15-3) / 当所は金融庁から権限の一部委任を受けた国の行政機関です。

「原発事故による警戒区域等からの避難者に対する高速道路の無料措置」、 「原発事故による母子避難者等に対する高速道路の無料措置」 の継続について

原発事故による警戒区域等からの避難者、原発事故による母子避難者、それぞれに対する高速道路の無料措置を、当面、継続します。

【継続期間】

平成28年4月1日(金) 0:00～平成29年3月31日(金) 24:00

【お問合せ】

国土交通省道路局高速道路課 (TEL 03-5253-8111 (内線 38322))

詳しくはコチラからどうぞ

■警戒区域等からの避難者に対する高速道路の無料措置

⇒ http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000623.html



■母子避難者等に対する高速無料措置

⇒ http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000624.html



ひと休み ふきの煮物

レシピ提供：
在来作物案内人 鈴木淳子さん

<材料>

ふき 200g
[A]
醤油 大さじ1
みりん 大さじ1
砂糖 小さじ1
酒 大さじ2

油 大さじ1
白ごま 適宜
とうがらしの輪切り 少々
塩分量外

<作り方>

- ① ふきは、茹でる鍋に入る長さに切りそろえて、まな板の上で塩をたっぷり振る。手のひらでふきを転がしながら全体を塩でまぶし、板ずりをする。
- ② 鍋にたっぷりの熱湯を沸かし、ふきを入れて茹で水にとって冷ます。皮をむき、5cm ぐらいの長さに切る。
- ③ 鍋に油を熱し、ふきととうがらしの輪切りを入れ炒める。
- ④ ③にAの調味料を入れ、煮汁がなくなるまで炒め煮をする。最後に白ごまをふる。



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪
<http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

生活支援相談員のご紹介

私たち相談員は、避難されている皆様の山形での暮らしを今年度も全力でサポートしています。
困りごとや暮らしの情報など、どうぞお気軽にご相談ください。



山形市社会福祉協議会
TEL : 023-645-8061
(左から)
村上、羽角、水戸、高橋、相馬



天童市社会福祉協議会
TEL : 023-654-5156
(左から)
有路、國井



寒河江市社会福祉協議会
TEL : 0237-83-3220
(左から)
奈良崎、日下部

支援センターのサイトをご覧ください → <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

みなさまからの情報をお寄せください!

詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ

復興ボランティア
支援センターやまがた



facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

次号は5月18日 発行です

情報提供や寄稿は、
5月6日までに
お寄せ下さい。
お待ちしております!



避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」

発行元：つなごろう！ささえあおう！
復興支援プロジェクトやまがた
〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号
「復興ボランティア支援センターやまがた」
TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312
E-mail kizuna@yamagata1.jp
WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>

* 新年度を迎え、心新たに何事にも★挑戦
★していきたいです！(きよつぺ)
* 余裕がなく、今年の桜は散り際しか見れ
ず。「散るも桜」と自分に言い聞かせ、
仰ぎ見る……(結)
* 冬に冷え込む場所に住んでいるほど、春
の訪れは格別に嬉しいですね。この時期
の色々な花を、めいっぱい楽しみます♪
(多田)
* 陽気に誘われ、久しぶりにプランターで
の野菜栽培を開始。収穫が楽しみ〜(海)
* 4月から皆さんの仲間入りしました。パ
ソコンが難しい…早く戦力になれるよう
にがんばります。(正)

つなごろう NET
<http://tsunagarou.net/>



「うえるかむ」に掲載されたこれまでの記事のすべてと、リアルタイムなおすす
め情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。